

# 『看護師が行うリハビリテーション研修』 研修会実施報告

日時 : 平成 30 年 10 月 13 日 13 : 00 ~ 15 : 30

対象者 : 32 名

参加者数 : 34 名 一般参加 2 名

目的 : 疾患による日常生活機能低下からくる呼吸器合併症の予防や廃用症候群からの離脱の具体的方法を学び実践に活かし早期離床を行い社会復帰につなげることができる。

## < 講師の紹介 >

南奈良総合医療センター

大島 成司先生

藍野短期大学を卒業。多根総合病院 ICU、平成記念病院消化器病棟を勤務され、現在は南奈良総合医療センターの救急、HCU で勤務。

ドクターヘリにもフライトナースとして搭乗し活躍されています。



## < 内容 >



今回の研修は南奈良総合医療センターに勤務の看護師大島成司先生をお招きし、看護師が行うリハビリテーションという題目で研修がおこなわれました。前半は、臥床はどうして身体に悪いのか、起こすリスクと起こさないリスクについての講義、後半は護師が行うリハビリテーションについて、日々のかかわりの中で行えるリハビリテーション、早期離床についてグループワークを行い発表を行いました。

前半の講義では、長期臥床が及ぼす悪影響について、そして、日常行なっている行為が「ながら離床」で早期離床につながっているという内容でした。グループワークでも、日々の看護、介助が早期離床につながっていることを研修生同士で認識することができました。長期臥床が及ぼす悪影響を再認識し、患者に合わせた日常生活支援、療養上の世話と早期離床を結び付け、意識した支援を行う事で患者の早期離床、早期退院につながる事を期待します。